

核データニュース編集小委員会報告

■核データニュース編集小委員会

合川正幸（北海道大学）、岩本修（原子力機構）、大塚直彦（IAEA）、川瀬頌一郎（九大）、小浦寛之（原子力機構）、中村詔司（原子力機構）、丸山修平（原子力機構）、山野直樹（放射線線量解析ネットワーク）

（敬称略、順不同）

■核データニュース発行報告

発行：下記のとおり発行いたしました。執筆者の皆様、ご協力ありがとうございました。なお第143号から新刊はJ-Stageでの公開となっています。

第144号（通巻第180号）2026年6月公開

- 「2024年春の大会」企画セッション「JENDL-5.1の開発状況と軽水炉解析における核データ利用の課題」
 - JENDL-5.1の開発状況および熱中性子散乱則の評価 岩本修・中山梓介
 - 熱中性子散乱則に関する断面積測定 木村敦
 - 軽水炉解析における核データ利用の課題 光安岳
- PHYSOR2026に参加して 多田健一
- 2025年度核データ部会賞（学術賞）：インビーム放射化法を用いたパラジウム同位体のミュオン捕獲による核種生成分岐比の測定研究 新倉潤
- タシケントをたずねて 大塚直彦

予告：下記の記事の掲載を予定しています。核データニュースを通して部会を盛り上げていくために、自薦・他薦問わず積極的な記事提案をお願いします。

第145号（通巻第181号）2026年10月公開予定（題名はいずれも仮題）

- 五十嵐さんとの思い出 水本元治・井頭政之・柴田恵一・千葉敏・深堀智生
- 「2026年秋の大会」企画セッション「TRIP事業(UC元素変換)の進捗と核データへの展開」
 - TRIPユースケース 元素変換の紹介と展望 木村真明・馬場秀忠
 - 核半径の網羅的測定の最前線 西村太樹
 - インビームガンマ線核分光法による励起状態データ取得 北村徳隆
- 私と核データ 渡辺幸信
- 研究室だより 西尾勝久

■J-STAGEへの遡及登載

核データニュースのJ-STAGEからの公開について、新刊号の登載と並行してNo.142以前に掲載された記事の遡及登載作業を開始しました。委員有志3名（合川・大塚・丸山）による作業ですので進捗はゆっくりですが、まずは核データ部会が刊行を担当したNo.96までの遡及登載の完成を目指します。

（以上）